

行政評価シート(事後評価)

コード 4-2-5	事務事業名 成人健康教育相談事業(健康づくりフォローアップ指導を含む)	所管部課 市民部健康年金課
--------------	--	------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	市民が生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるよう、健康の自己管理に必要な正しい知識の普及を図り、必要に応じて相談による指導・助言を行い、市民の健康的な生活習慣の定着を目指す。	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
健康手帳の交付/40歳以上の希望者に対し、申請により健康手帳を交付する。 健康教育(一般健康教育)/希望者に対し、健康づくりに関する各種教室・講演会等を実施する。 健康教育(病態別健康教育)/健康診査(特定健康診査及び一般健康診査)受診者のうち、希望者および保健指導が必要と思われる方に対し生活習慣病予防のための教室・講演会等を実施する。 健康相談/希望者に対し、定期的および随時、健康・栄養相談を行う。 その他、市民の依頼による出張健康教育、自主グループへの支援等を必要に応じて行う。		
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		4,267	3,227	3,491	4,315
財源: 国庫支出金・都支出金		3,356	1,663	1,656	1,105
財源: 地方債	千円				
財源: その他 ( )					
財源: 一般財源		911	1,564	1,835	3,210
所要人員(B)	人	2.00	1.80	1.80	0.70
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,370	14,690	14,690	5,713
臨時職員等賃金(C')	千円	2,694	2,992	2,150	1,983
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	23,331	20,909	20,331	12,011
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (健康づくり教室(一般)の開催回数)	千円	348	436	678	522

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
健康づくり教室(一般)の開催 実績値	回	67	48	30	23
定例健康相談の開催 実績値	回	127	87	82	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 65歳以上の介護予防に関する事業の主管課が高齢者支援課に移行したため、65歳以上を対象とした事業が平成17年度で終了した。					
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一 健康づくり教室の参加者数(参加実人数)	目標値	1,165	375	337	300
	実績値	1,300	402	345	
二 健康づくり教室卒業生による新規自主グループ	目標値	2	3	1	1
	実績値	2	4	2	
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)平成17年度までで65歳以上を対象とした事業が廃止されたため、平成18年度からの参加者が減少した。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	各教室ごとに終了アンケートを実施している。その結果、ほぼ全員の方が教室に満足または役に立ったと回答している。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	(老人保健法の補助金申請を行っている事業についてのみ比較) ・集団健康教育・・・実施回数26市中5位、参加延人数26市中11位 ・健康相談・・・実施回数26市中18位、参加者数26市中6位
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	運動実技や調理実習等の企画は公民館やスポーツ施設等で一部類似したものがあるが、当事業では専門職の講話を入れるなど、参加者が広く健康づくりのために知識を取得できるようなプログラムを組むことで区別化している。

コード 4-2-5	事務事業名 成人健康教育相談事業(健康づくりフォローアップ指導を含む)	所管部課 市民部健康年金課
--------------	--	------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	3		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	2		
市民ニーズの把握	3		
<p>生活習慣病は、日本人の死因の30%を占めており、個人の生活の質(QOL)にも大きな影響を与える疾患である。QOL維持や医療費削減の面でも生活習慣病予防は求められている。市民の健康に関する関心が高まる一方で、メディア等にあふれる健康情報に惑わされるケースも少なくない。市民が継続して健康づくりを行うためには、まずは正しい知識を身につける必要がある。特定保健指導が平成20年度から開始になるにあたり、市民向けの生活習慣病予防事業をどう維持していくかが今後の課題である。</p> <p>また、生活習慣病に特化しない事業についても市民ニーズは高い。一般健康教育は、気軽に参加できるためか、申込者も多い。これらはただ参加して終わるのではなく、自らの健康づくりを意識するきっかけや、市が行う事業に親しみを持ってもらうきっかけにもなっている。全体の事業量が増加している中で、一般健康教育についても、事業量をどう維持するかが課題となる。</p>			

### 【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
事業の必要性	2		
事業主体の妥当性	2		
直接のサービスの相手方	3		
事業内容等の適切さ	2		
受益者負担の適切さ	1		
市民ニーズの把握	2		
<p>今年度から特定保健指導が開始されることから、市の実施する健康教育・健康相談事業については、制度変更の時宜を捉えて見直ししていく必要がある。</p> <p>なお、一般向け健康教育については、プログラムの専門性を踏まえつつも、公民館などで実施している他の類似事業と連携した運営や、事業内容及び対象者の見直しについても検討されたい。</p>			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>特定検診・保健指導の実施を踏まえた成人健康教育相談事業のあり方について、『健康づくり推進プラン』の見直し作業の中で検討されたい。</p>